神子畑橋と羽淵橋はそれぞれ1885年，1887年に完成した。明延，神子畑，生野の鉱山町を｢銀の馬車道(銀山の馬車道)｣（現在は銀の馬車道として知られている生野鉱山寮馬車道）につなぐ｢鉱石の道｣の一部として建設されたが，鉱山と南部にある姫路港の間の大型車両を支えるため橋は鋳鉄で作られた。経路の最初にある神子畑橋は日本で最も古い鋳鉄の橋で，また3番目に古い鉄の橋である。元々は｢鉱山の道｣沿いに5つの橋があったが，神子畑橋と羽淵橋だけが現存している。

1995年洪水を防ぐため川底が広げられ，羽淵橋は移された。しかし神子畑橋は今も同じ場所にあり，1977年に国家遺産となった。